

その電話、あなたをだまそうとしているかも…

特殊詐欺に気を付けよう

県内で特殊詐欺(不特定の人に対して、対面することなく、電話、ファクス、電子メールを使って行う詐欺)による被害が続発しています。被害に遭わないためにも、一人一人が詐欺の手口を知り、対策を持つよう心掛けましょう。

急増している振り込め詐欺

近年、おれおれ詐欺や架空請求詐欺といった特殊詐欺の被害が増加しています。警察庁の統計では、平成26年中の全国の特種詐欺被害の認知件数は13392件、被害総額は565億5069万円にも上ります。そのような中、5月末現在の県内特殊詐欺被害の内、振り込め詐欺の件数が前年に比べ、大幅に増加しています(表1参照)。突然掛かってきた電話が、少しでも怪しいと思ったら、相手にせず電話を切るようにしましょう。

振り込め詐欺は、①架空請求詐欺②融資保証金詐欺③還付金等詐欺④おれおれ詐欺の4種類に分けられ

ます。3階の上段にその内容と注意点を示しますので、詐欺の手口を知り、被害に遭わないように気を付けましょう。

被害を防ぐためにも相談を

県内金融機関では、特殊詐欺被害防止のため、窓口で多額の現金を引き出す場合に預金小切手(自己宛小切手)の利用を案内する場合があります。詐欺を未然に防ぐための対策ですので、冷静になって話をしてみましょう。年々、特殊詐欺の手口は巧妙になっていきます。普段から対策情報を集めるとともに、不審だと思ったら、周りの人に相談するように心掛けましょう。

市内で被害を防止した事例があります

自分に振り込め詐欺の電話が掛かってくるはずがないと思っていませんか? 実は、市内でも詐欺に遭う前に気付き、被害を防止した事例があります。それは、平成25年9月に田山郵便局で詐欺被害を防いだ事例です。振り込みのために同局を訪れた女性が「息子に頼まれた」「正午までに振り込むよ言われた」と話していたことなどから、局員が不審に思い、岩手警察署に通報したことで詐欺が発覚。被害は未然に防がれました。このように、市内でも不審な電話が掛かってきた例がありますので、油断しないようにしましょう。

表1 平成27年5月末現在の県内特殊詐欺の統計情報(県警発表資料から)

振り込め詐欺合計			振り込め詐欺以外の特殊詐欺合計		
認知件数	被害額	前年比	認知件数	被害額	前年比
38	1億7,572万円	+12	1	1,813万円	-14

特殊詐欺合計(5月末現在)		
認知件数	被害額	前年比
39	1億9,385万円	-2

【参考】26年中の特殊詐欺合計	
認知件数	被害額
85	4億2,812万円

※金額は、四捨五入して表記しているため、集計額に誤差が生じる場合があります。

融資保証金詐欺

▶内容=資金繰りに困っている個人や中小企業者に対し、融資する意思が無いのにも関わらず、はがきやファクスなどに「誰でも融資」「担保不要」などと記載して融資を誘います。申し込むと「保証金が必要」「信用実績が必要」などと口実をつけ、現金を口座に振り込ませるなどしてだまし取ろうとします。最近では、あたかも震災により経営に被害を被った会社を救済するのごとく欺き、事務手数料や保証金などの名目で現金をだまし取る手口が発生しています。

▶注意点=正規の貸金業者では、いかなる名目であっても、融資を前提に現金の振り込みを要求することは無いので、誘いに乗らない。

あなたを狙う振り込め詐欺

その内容と注意点

おれおれ詐欺

▶内容=息子や孫などをかたり、「電話番号が変わった」という電話が掛かってきます。その番号を新しい番号と信じ込ませ、後日、連絡することで本物の親族だと思込ませ、現金を要求してきます。また、従前からの詐欺に加え、警察官や銀行協会職員などを名乗って、銀行の暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取る手口も多発しています。

▶注意点=「電話番号が変わった」は詐欺を疑う。そのような電話があった場合、電話を切った後、元の番号に必ず電話をする。警察や銀行協会などの官公庁や団体から電話があった場合、言われた番号を信じることなく、電話帳などを調べて、掛け直す。

架空請求詐欺

▶内容=携帯電話やパソコンに「サイト利用料金未納」「退会手続きがされていない」など、不安にさせる内容のメールが届きます(ハガキの場合もあります)。文中の連絡先に電話すると「払わないと裁判になる」「アクセスしたログが残っている」などと丁寧な口調で説明され、記載してある額面のほか、延滞料などを上乗せして、多額の料金を請求してきます。

▶注意点=心当たりのない請求には応じない。不安な場合は警察などに相談する。利用した時間や明確な料金内訳が無い請求には要注意。レターパックを利用して送金を求める業者は信じない。

還付金等詐欺

▶内容=税務署や市役所などの職員を名乗る人から電話が掛かってきて「税金の返還金(または医療費の還付金)があるが、以前通知したのに返信がないので電話をした」などと、いきなりの連絡ではないことを強調します。その後「今日中に手続きしないと期限が切れる」などと言って焦らせた後、「キャッシュカードと携帯電話を持ってATMに行ってください」と言い、ATMに向かわせ、操作方法を指示し、お金をだまし取ります。

▶注意点=入金される場合、本人がATMを操作する必要はありません。ATMに向かうよう指示された場合は、確実に詐欺だと思い、電話を切りましょう。

怪しいメールや電話があったら

県警では、振り込め詐欺に関する情報の提供をお願いするため、情報受理専用メールアドレス(hurikome.jyouhou110@pref.iwate.jp)を開設しています。犯人につながる情報として、▶あなたに届いた詐欺メールの本文▶指定された振込先の口座番号▶相手の連絡先電話番号▶など、メール

やはがきに記載された具体的な振り込め詐欺情報をお知らせください。寄せられた情報は、犯人の検挙、被害防止のための広報など、広く活用させていただきますので、ご協力をお願いします(提供いただいた情報に対する回答は行っていません)。特殊詐欺の相談は、#9110または最寄りの警察署へ、被害情報や「不審者からたつた今電話があった」など緊急の場合は110番まで。